

真空地帯 (1952)

メディア 映画

ジャンル 戦争

製作国 日本

色彩 B&W

時間 129分

初公開日 1952/12/15

公開情報 北星

【解説】

野間宏の実体験に基づく同名小説を、山本薩夫が監督し映画化。軍隊内部に蔓延する暴力、いじめ、理不尽な命令などを描いた、一種の反戦映画と言えよう。原作は毎日出版文化賞を受賞している。

士官の財布を盗んだとして、木谷は陸軍刑務所に二年間服役。出所した木谷は軍の内務班に復帰した。班の内部では班長をはじめ古参兵たちが、初年兵をいじめていた。特に一等兵の會田は大学出ということもあり、日常的に暴力を受けていた。しかし木谷だけはそんないじめには加担していなかった。會田は木谷に好意を寄せ親しくなるが、木谷が野戦送りの人員に選ばれることを知ってしまう。木谷が刑務所へ送られたのも、野戦送りの人員に選ばれたのも、すべては派閥争いによるものだった。

【クレジット】

監督 山本薩夫

製作 嵯峨善兵
岩崎昶

原作 野間宏

脚本 山形雄策

撮影 前田実

音楽 團伊玖磨

出演 木村功

利根はる恵

神田隆

加藤嘉

下元勉

西村晃

岡田英次 Eiji Okada

金子信雄